2025年6月30日

〔第1.1版で点検〕

「私立大学ガバナンス・コード」遵守状況報告書

概要

1. 法人名等

法人名	学校法人 関西学院
法人代表者	荻野 昌弘
担当部署	総務部
お問合せ先	0798-54-6000

2. 「基本原則」及び「遵守原則」の遵守概況

基本原則	基本原則の遵守状況	遵守原則	遵守原則の遵守状況
1. 自律性の確保	「遵守」	1-1	「遵守」
2. 公共性の確保	「遵守」	2-1	「遵守」
		2-2	「遵守」
3. 信頼性・ 透明性の確保	「遵守」	3-1	「遵守」
		3-2	「遵守」
		3-3	「遵守」
4. 継続性の確保	「遵守」	4-1	「遵守」
		4-2	「遵守」

3. 遵守状況の確認フロー図

○担当部署 → ○総務部集約 → ○常務委員会(2025年6月12日) → ○理事会・監事(2025年6月20日) → ○大学評議会(2025年6月27日) → ○評議員会(2025年6月28日) → ○ホームページ掲出・私立大学連盟へ報告(2025年6月30日)
--

「基本原則」及び「遵守原則」の遵守状況（取組状況）の詳細等

1. 各「基本原則」及び「遵守原則」の遵守状況の説明

基本原則「1. 自律性の確保」

遵守状況	「遵守」
基本原則の遵守方法に係る説明	本学では、中長期計画（Kwansei Grand Challenge 2039）の策定、実施を通じ、教育研究目的を明確化し、学内外の理解の獲得に努めており、自律性を確保している。

遵守原則 1 - 1 教育研究目的の明確化、理解の獲得

遵守状況	「遵守」
エクस्पラインの種類	コードの記載通りの方策により遵守している
遵守原則の遵守方法に係る説明	本学では、中長期計画（Kwansei Grand Challenge 2039）を策定し、計画の実施を通じて教育研究目的を明確化しており、計画内容についてはホームページ等で公表している。中長期計画は、長期戦略のテーマごとに検討体制を設け、多様な意見聴取の機会を設けて策定しており、教学だけでなく、財政、建設、人事、情報化に関する計画も含み、それぞれ具体的なスケジュールや内容を明確にしている。また、中長期計画の策定と執行にあたっては、計画ごとに責任者を定め、成果指標に基づいて進捗を点検・評価し、進捗状況や実施結果はウェブサイトを通じて定期的に法人内外に公表している。点検・評価に関しては3年毎に講評する仕組みを設けており、学内外の環境変化に応じて速やかに修正を行える体制を構築している。

基本原則「2. 公共性の確保」

遵守状況	「遵守」
基本原則の遵守方法に係る説明	本学では、学生が身に付けるべき知識・能力・資質を定め、不断の改善サイクルにより教育研究活動を向上させている。また、学部・研究科やその他組織により地域社会の発展に貢献していく活動を展開しており、ホームページ等で公表し、公共性を確保している。

遵守原則 2-1 有益な人材の育成

遵守状況	「遵守」
エクस्पラインの種類	コードの記載通りの方策により遵守している
遵守原則の遵守方法に係る説明	本学では、ミッションステートメントにおいて、スクールモットー“Mastery for Service”を体現する、創造的かつ有能な世界市民を育むことを使命としており、不断の改善サイクルにより教育研究活動を向上させ有益な人材の育成に努めている。また、上記のミッションステートメントと中長期計画をふまえ、全学生が身に付けるべき知識・能力・資質を「Kwanseiコンピテンシー」と定め、さらに学部・研究科ごとに「入学者受け入れ方針」に基づき入試を実施し、「学位授与方針」、「教育課程の編成・実施方針」を定めて教育研究活動を進めている。これらに基づいた教育研究の質向上や学生の学修成果については、認証評価やIR活動による調査・分析も含めた自己点検・評価を行い、改善に繋げている。

遵守原則 2-2 社会への貢献

遵守状況	「遵守」
エクस्पラインの種類	コードの記載通りの方策により遵守している
遵守原則の遵守方法に係る説明	本学では、「社会連携・社会貢献の方針」を策定しており、教育研究の成果を積極的に還元することを公表している。また、関連規程により、本学の教育研究に携わる教職員は、国内・国外の学外機関との交流を行い、その成果を通して人類の福祉と社会の進歩に貢献することを定めている。具体的な取組みとして、市民・社会人対象の公開セミナーを実施しているほか、企業・自治体・教育機関にむけたAI活用人材プログラムを提供している。他にも、ボランティア活動等を支援するセンターの規程を制定しており、災害をはじめとして各種ボランティア活動に関わる学生を支援している。

基本原則「3. 信頼性・透明性の確保」

遵守状況	「遵守」
基本原則の遵守方法に係る説明	本学では、法令順守・社会貢献体制を整備しており、監査機能・監事機能が実質化されている。これらにより、理事会での執行・監督・不正防止体制を整え、決算報告なども交えて積極的に情報公開しており、信頼性・透明性を確保している。また、事業報告書の作成を通じて経営上の課題や成果を明確化し、経営改革を推進している。

遵守原則3-1 法令の遵守、社会貢献

遵守状況	「遵守」
エクस्पラインの種類	コードの記載通りの方策により遵守している
遵守原則の遵守方法に係る説明	本学では、監事監査規程を定めており、監事は、財産の状況についての監査を効率的に行うために会計監査人と連携してこれを行うことや、会計監査人と年2回以上の合同会議を行うこととしている。また、同規程において、内部監査内容や法人業務の改善についてコンプライアンス推進部内部監査課と連携をはかることについても定めている。このように、求められる信頼性・透明性の確保のため、法令順守、社会貢献のための体制を整備しており、監査機能の向上および監事機能の実質化に継続的に取り組んでいる。

遵守原則3-2 理事会による執行、監督機能の実質化、不正防止制度整備

遵守状況	「遵守」
エクस्पラインの種類	コードの記載通りの方策により遵守している
遵守原則の遵守方法に係る説明	本学では、2023年4月に学校法人のコンプライアンス推進にかかるとともに、ウェブサイトで公表している。また、コンプライアンス推進部内部監査課を設置しており、監事、会計監査人を含めた三様監査によって不正防止に努めている。他にも、2021年度から定期的に役員対象のコンプライアンス研修を実施しているほか、公益通報窓口を設置することで、法令、寄附行為もしくは学院の諸規程に違反する行為又はその恐れがある行為を早期に発見し、是正するように努めている。

遵守原則 3 - 3 積極的な情報公開

遵守状況	「遵守」
エクस्पラインの種類	コードの記載通りの方策により遵守している
遵守原則の遵守方法に係る説明	本学では、プライバシーポリシーや個人情報の取扱いに関する規程を定めている。本学が開示する情報については学内の関係部門が連携する体制を整えており、「関西学院大学に関する情報公開・データ」をウェブサイト上に掲載している。また、認証評価結果、外部評価結果、設置計画履行状況等調査結果等の学外からの評価結果や、決算等の財務状況や事業報告書等についてもそれぞれウェブサイトに掲載している。その他、情報へのアクセシビリティやユーザビリティ向上のため、継続的かつ時宜にかなった情報をホームページ、X（旧twitter）、Facebook、Instagram等で公開している。

基本原則「4. 継続性の確保」

遵守状況	「遵守」
基本原則の遵守方法に係る説明	本学では、大学運営について大学評議会や学内各種会議および理事会・評議員会において議論、意見聴取することにより、実質化されて自律的な大学運営がなされ、収入の多様化に努めて財政基盤の安定化を図っている。また、情報セキュリティ体制の適切性・運用状況を検証する体制を構築しており、教育研究活動の維持・継続、発展に努めている。

遵守原則 4 - 1 大学運営に係る諸制度の実質化、自律的な大学運営

遵守状況	「遵守」
エクस्पラインの種類	コードの記載通りの方策により遵守している
遵守原則の遵守方法に係る説明	本学では、「寄附行為」、「寄附行為施行細則」、「職制」等の規程によって、その権限や責任、選解任に関する手続きを明確にしておき、「職制」や「職務権限規程」の規程において政策執行者の権限と責任を明確化している。そして、理事会や評議員会等の各機関が実質的に機能し十分に役割を果たせるよう、各規程において議決事項を明確にするとともに、各議決事項については様々な会議体において意見聴取や意見表明の有無の確認をおこない、適切に意思疎通が図られるように努めている。また、理事会、評議員会、大学評議会など大半の学内会議において、資料の事前配布をしており、実質的な議論が交わされるようにしている。

遵守原則 4 - 2 財政基盤の安定化、経営基盤の強化

遵守状況	「遵守」
エクस्पラインの種類	コードの記載通りの方策により遵守している
遵守原則の遵守方法に係る説明	<p>本学では、受験者数の拡大、寄付依頼拡充等の自助努力の他、競争的研究費や国・地方公共団体による補助金獲得など、収入の多様化に努め、財政基盤の安定を図っている。とりわけ寄付募集については、理事長、院長、学長ほか各学校長等で構成する関西学院募金推進委員会規程を定めており、教育研究振興、奨学金制度の充実や学生の課外活動支援、グローバル化支援など、目的を明確にした寄付募集を行っている。また、補助金を含めた外部資金の獲得には、学内各部署が連携して情報収集や申請の取組みを進め、収入の多様化、財政基盤の安定を図っている。危機管理の観点については、「関西学院における危機対応に関する規程」を定めるとともに、危機管理対応に関するマニュアル等の作成を進めている。情報セキュリティ面に関しても、NII（国立情報学研究所）に準拠した情報セキュリティポリシーを定め、セキュリティアドバイザーによるチェックを実施し、運用状況を検証し改善に繋げている。</p>

2. 追加事項

「実施項目」を概ね実施することによって全ての「重点事項」を満たしている。